

1991年から続く、イオンの植樹活動

イオンは新しい店舗を出店する際、お客さまとともに木を植える「イオン ふるさとの森づくり」を行っています。きっかけは1960年代、三重県四日市市で岡田卓也（現イオン(株)名誉会長相談役）の庭に植えられた南天が実をつけなくなったことでした。その後も深刻な公害による地球環境の変化を目の当たりにした岡田は、「自然の恵みを失うことは、豊かさの根源を失うこと」と、強い危機感を抱き、小売業の特長を活かしてこの活動を始めました。植えられた木々は生きものが集まる森へと成長し、現在では豊かな生態系を育んでいます。



1991年に実施された
第1回目の植樹活動（マレーシア）

植樹実績（日本を含む11か国で実施）

本数は「イオン ふるさとの森づくり」、(公財)イオン環境財団による植樹、
「イオン 東北復興 ふるさとの森づくり」の合算
(2025年2月末時点)



イオンタウン松阪船江での植樹祭